



学校だより

令和6年 4月 8日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

「新しいものを生み出していく力を付けるための1年とする」

例年よりも桜の開花時期が遅くて、4月になっても桜がまだ満開とならず、始業式・入学式を待っていてくれるかのようでした。それでも確実に時間は進んでいて、季節もゆっくりと変わってきています。

令和6年4月1日に村山特別支援学校の校長となりました阿部 智子（あべ ともこ）です。どうぞよろしくお願いいたします。今年度、この村山特別支援学校で皆さんと出会えたことは、偶然ではなくて必然（起こるべくして起こったこと）であると思っています。私の今年の1年の漢字は「調」という漢字を選びました。いろいろなことを調える（ととのえる）という意味です。じっくりと考えて村山特別支援学校の「今とこれから」を調べて対応してまいります。



本校舎の正門前の桜は少しだけ咲いています。

4月4日に解体中の本校舎の状況を現場監督の指導のもとヘルメットをかぶって見てきました。村山特別支援学校の、開校50年の歴史の中で担ってきた使命をしっかりと果たし、新しい校舎に生まれ変わるために準備は着々と進んでいるということを実感しました。緑が丘校舎での生活は3年続きますが、新校舎が完成するときのためにも、我々もそれに見合った力を付けている必要があるのです。



職員室があった校舎は何もありません。プールが解体されていました。



体育館の中身は空洞になっていました。

「温故知新（おんこちしん）」（昔のことをよく研究して新しい問題や新しい価値を発見する）と

という言葉があるように50年の歴史ある村山特別支援学校をしっかりと考え、調べ、土台を固めて、あるべき「村山 Style」を構築していきたいと考えています。

【様々な職種、職層からなる「チーム村山」だからこそできること】

暖かく穏やかな春になってきました。就学・進級・入学された児童・生徒の皆さん、おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のこれからの成長のために、学校と共に手を携えて御協力いただくと幸いです。

令和6年度は、小学部7名、中学部10名、高等部14名、計31名の新入生を迎えました。学級数は42学級、全校児童・生徒は114名です。

教職員は、校長、副校長2名、教育指導系職員103名、行政系職員43名、計146名でスタートします。主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、養護教諭、非常勤教員が76名。主任学校介護職員と学校介護職員が27名。行政系は、経営企画室長、主任、主事、栄養士、看護師（常勤、主任非常勤、総合非常勤、非常勤）、副校長マネジメント支援員、バスクラーク、スクールバス安全運行支援員、障害者雇用支援員、教育事務補助員と、実に様々な職種、職層からなります。このほかにも外部専門員などチームとして村山特別支援学校を支えています。土台をしっかりと組み、学習指導要領に基づいた根拠ある授業づくりを行ってまいります。児童・生徒が、これからオンリーワンの花を咲かせるための充実した1年となるように、全校教職員一丸となって教育活動に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 阿部 智子